

十字架への序曲

ヨハネ福音書12:27-33

【新改訳 2017】

12:27 「今わたしの心は騒いでいる。何と言おうか。『父よ、この時からわたしをお救いください』と言おうか。いや、このためにこそ、わたしはこの時に至ったのだ。

12:28 父よ、御名の栄光を現してください。」すると、天から声が聞こえた。「わたしはすでに栄光を現した。わたしは再び栄光を現そう。」

12:29 そばに立っていてそれを聞いた群衆は、「雷が鳴ったのだ」と言った。ほかの人々は、「御使いがあの方に話しかけたのだ」と言った。

12:30 イエスは答えられた。「この声が聞こえたのは、わたしのためではなく、あなたがたのためです。」

12:31 今、この世に対するさばきが行われ、今、この世を支配する者が追い出されます。

12:32 わたしが地上から上げられるとき、わたしはすべての人を自分のもとに引き寄せます。」

12:33 これは、ご自分がどのような死に方で死ぬことになるかを示して、言われたのである。

【祈りながら考えよう】

- (1) 「今わたしの心は騒いでいる」と言われる「主の心の動揺」は何が原因ですか。
- (2) 27-28節の主の祈りはゲッセマネの園での祈りとどのように類似していますか。
- (3) 主の十字架の死によってこの世の支配者サタンはどのように敗北し^{あたま}頭を砕かれましたか。キリスト者はこれをどのように適用すべきですか。

【解 説】

(1) ゲッセマネの園での祈りと比較

主は、受難週の早い頃、巡礼として過越の祭りを祝うためエルサレムに来ていた改宗者のギリシャ人の訪問を受け、その時、有名な「一粒の麦」について語られた。それが来たるべき十字架の死を意味することは、それに続いて語られた御言葉によってよく分かる。

「今わたしの心は騒いでいる。何と言おうか。『父よ、この時からわたしをお救いください』と言おうか。いや、このためにこそ、わたしはこの時に至ったのだ。父よ、御名の栄光を現してください。」(27-28節)

この主の告白と祈りの御言葉は、後にゲッセマネの園での主の告白と祈りの御言葉によく似ている。

①ここでは、「今 わたしの心は騒いでいる」と言っておられるが、ゲッセマネの園では、「わたしは悲しみのあまり死ぬほどもです」(マタイ26:38)と言っておられる。

②ここでは、「父よ、この時からわたしをお救いください」と言っておられるが、ゲッセマネの園の祈りでは、「わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。」(マタイ26:39)と言っておられる。

③ここでは、「このためにこそ、わたしはこの時に至ったのだ。」と言っておられるが、ゲッセマネの園の祈りでは、「わたしが飲まなければこの杯が過ぎ去らないのであれば、あなたのみこころがなりますように」(マタイ26:42)と言っておられる。

このことから分かるように、主はあのゲッセマネの園で木曜日の夜祈られる前から、ずっと十字架を見つめておられたということである。そして、十字架の死がどんなに恐ろしいものであるかということ、実感しておられ、苦しみ通しておられた。

主が悩み苦しんでおられるのは、決して十字架での肉体の苦しみのことではない。死ぬために天からこの世に来られた主イエス・キリストは、人類の罪を背負い、その刑罰が、どんなに恐ろしいものであるかということをご存じであった。だから、悩みもだえておられるのである。



(2) 天からの御声

主がこの祈りをされると、すぐに天から御声があった。「わたしはすでに栄光を現した。わたしは再び栄光を現そう」すぐに天からの御声があったということは、御子イエス・キリストと父なる神との親しい交わりが絶えずあったことが分かる。では、父なる神が、「わたしはすでに栄光を現した。わたしは再び栄光を現そう」と言われた意味は何か。

神の栄光は、イエスの地上における働きの間、現された。ナザレにおける沈黙の30年間、3年間の公生涯、救い主のすばらしいことばやみわざのすべては御父の御名に大きな栄光をもたらした。しかし、それよりもさらに大きな栄光が、

キリストの死と埋葬、復活、そして昇天を通して神にもたらされようとしていた。

主は、天からの御声について、そこにいた群衆に説明された。

「この声が聞こえたのは、わたしのためではなく、あなたがたのためです。今、この世に対するさばきが行われ、今、この世を支配する者が追い出されます。わたしが地上から上げられるとき、わたしはすべての人を自分のもとに引き寄せます。」(30-32節)

天からの特別な御声は、いつも重大な時に発せられた。主イエスがバプテスマを受けられた時、変貌の山での時、このたびの場合も、主が父なる神との親しい交わりを持っておられることを、そこにいる人々に示すためのものであった。

(3) この世に対するさばきが行われる

今、この世に対するさばきが行われ、今、この世を支配する者が追い出されます。(31節)

「さばき」(κρίσις (クリシス) / judgment) と訳された語は、有罪とされるという意味しかあり得ないと考える。したがって、この文章の意味は次のようになる。「今や、創造の時以来この世において勝ち誇ってきた万物を支配する悪の力に対し、わたしの死によって有罪の判決を言い渡す時が来た。この世はもはやそのまま放置され、悪魔と暗黒の力に渡されたままではない。わたしは贖いのわざによって彼らの支配を滅ぼし、これまで地上に勝ち誇ってきた、暗く不敬虔な万物を支配する悪の力を有罪とし、廃棄しようとしている。それは長い間、父なる神によって見過ごされ、大目に見られてきた。しかし、もはやこれ以上見逃し得ない時が来たのだ。わたしの十字架により、今週こそ、この世の宗教制度は有罪の判決を受けるのだ」(J・C・ライル)。

また、アウグスチヌスはこの節に関して次のように述べている。「悪魔は人類を手中に収め、人間を犯罪人として捕え、彼らの罪の行いにより刑罰を与えると申し渡し、不信仰な者の心を支配し、彼らを引いてゆき、被造物を拜むように彼らを欺いてとりこにし、こうして人々は創造者を見捨ててしまった。しかし、キリストを信じ、彼の死と復活を確信し、彼の血によって罪の赦しを受けた無数の信者は、悪魔の支配から解放され、聖霊によって生き返らされ、かしらである偉大な主のからだの忠実な一部分とされたのである。これを主は「さばき」と呼んだのである。」

(4) この世を支配する者が追い出される

「この世を支配する者」とは明らかにサタンを意味する。主の贖いのわざがなされる時まで、全世界はある意味において、完全にサタンの支配下に置かれていた。キリストが来て罪人のために死んだ時、サタンの横暴な力は打ち破られ、致命的な打撃を受けた。十字架の上において、キリストはすばらしい方法で、「すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられ」(コロサイ2:15)た。主は明らかにこの勝利のことについて語られたのである。「いよいよ今週のうちに、わたしが十字架の上で贖い主として身代わりの死を遂げることにより、この世の支配者であるサタンは致命的な打撃を受け、人間を支配する座から引き降ろされ、追い出される。蛇の頭は砕かれる。」(創世記3:15)。この主の十字架でのみわざを、今日の私たちは、どう適用すればよいのか。

神に対する不敬虔の罪を悔い改め、主イエスを救い主と信じ受け入れる。その時、私たちはサタンの支配下から解放される。なぜか。悪魔がいかに人の罪を訴えようとも、神は主イエスを信じた者を、主の十字架のみわざゆえに赦しておられるからである。

「この者の罪に対するさばきは2千年前に完了した。カルバリの十字架において終了した。御子イエスを信じる者を、わたしは義とする。十字架で流された御子の贖いの血潮には何の不足もない」と神は宣言しておられるのだ。

「神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。…神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです」(ロマ8:31-34)。

悪魔は主を信じる者たちを訴えるが、何の力もない。なぜか。主を信じる者たちを訴える罪のさばきは終わっている。十字架のみわざを突きつけられては、悪魔は訴えようがないのである。悪魔の力は砕かれた。

死も恐怖ではなくなった。主イエスは死を打ち破り復活した。主を信じる者たちには同じく、死は何の力もない。復活の初穂なる主に続いてキリスト者はみな復活する。私たちにとって死は眠りにすぎず、「天の御国への入口」という意味に変えられた。

主はサタンがこの世から完全に「追い出され」てしまい、もはや誘惑することはないと言われたのではない。それは黙示録20章から知られるように、再臨の時になされるのであって、初臨の時になされるのではない。サタンは今もなお、悪事を働きながら、世を巡っている。しかし、サタンが死の池に投げ込まれるのは時間の問題である。

(5) 自分のもとに引き寄せます

「わたしが地上から上げられるとき、わたしはすべての人を自分のもとに引き寄せます」

この節が、キリストの十字架によってすべての人が実際に救われるという意味であると考えべきではない(万人救済説)。キリストは世界のすべての人を実際に「照らして」いるという意味以上に考えてはならない(ヨハネ1:9)。

他の聖句から推測して明らかなことは、キリストの十字架は、ユダヤ人のみならず異邦人も含めたすべての国の人々に対して、「引き寄せる」影響力を持っているということである。主が引き寄せてくださることによって、私たちはイエスをキリストと信じることができるようになる。